

令和8年度 第3回学校運営協議会議事要旨

松戸市立小金小学校

○日 時 令和8年10月2日（金） 10時10分より

○場 所 小金小学校 コミュールーム

○参加者

松戸市教育委員会より

教育政策推進課指導主事 河村 将 様

教育研究アドバイザー 西郡 泰樹 様

浦上 和茂 様

学校運営協議会委員 出席者（敬称略）

安達 里季 上野 久 塩澤 凉子 大谷 茂範 鈴木 悦朗

安井 裕道 山口 真由美 海老澤 亜矢 丸山 達也 中嶋 雅行

三輪 祐子 西山 幸子 松尾 利之

（13名）

学校運営協議会委員 欠席者（敬称略）

岩田 智恵 吉野 大介（2名）

○次第

1 小金小学校学校運営協議会 10時～

（1）校長挨拶

- ・前期終業式の日にあたり、通知表を配付している。
- ・前日に市教育委員会主催の学校運営協議会に関する会議へ出席し、小金小の状況を伝えたり、市内小中学校への設置に向けて情報提供を行ったりしている。
- ・本校は市内でも早期から学校運営協議会を設置しており、委員の協力に感謝している。
- ・子供たちは卒業後も地域で生活していくことから、学校と地域が連携しながら子供の成長を支えることが重要である。
- ・先日の「小金わくわく探検隊」など、地域の協力による取組が継続していることに感謝している。
- ・本日は前回出された意見を基に、今後の具体的な取組について協議していただきたい。

（2）会長挨拶

- ・前回協議で出された意見を整理・分類した資料を基に、本日は実際に取り組むテーマを検討したい。
- ・アイデアを行動につなげる第一歩となる協議にしたい。

(3) 協議会

〈前回協議内容の整理結果について〉

前回の協議で提出された 62 件の意見を整理し、次の 9 つのカテゴリーに分類したとの報告があった。

- ・A 地域人材による学習サポート
- ・B 情報発信のサポート
- ・C 子供の地域参加・地域意識の醸成
- ・D 地域交流イベント
- ・E 運営上の課題・ハードル
- ・F 学校と地域をつなぐ組織・体制づくり
- ・G 居場所づくり（放課後・週末の活動）
- ・H 見守り・安全・防災
- ・I 多文化共生（外国籍家庭支援等）

※家庭の教育力については独立した項目ではなく、全てのカテゴリーに関わる視点として整理した。協議の目的について、「本年度中に実行可能な取組を一つ選び、具体化していくこと」が確認された。

〈グループ協議〉

委員をグループに分け、どのカテゴリーを重点テーマとするか協議した。

～主な意見～

- ・放課後や地域活動を含めて子供を支える体制づくりが必要。
- ・様々な地域団体と学校をつなぐ役割が重要。
- ・コミュニティ・スクールが地域団体と学校の仲介役となることが望ましい。
- ・「学校と地域をつなぐ組織体制づくり（F）」を中心に考えたい。
- ・各団体がもつ情報発信の仕組みを活用することが現実的。
- ・まずは情報共有・情報発信の充実から取り組むことが有効ではないか。
- ・「情報発信のサポート（B）」を推したい。
- ・どの取組にも課題はあるが、地域人材の活用と学校・地域をつなぐ仕組みづくりは重要。
- ・「地域人材による学習サポート（A）」と「学校と地域をつなぐ組織体制づくり（F）」を候補とした。

〈全体協議〉

グループ協議の結果を踏まえ、全体で意見交換を行った。

～主な意見～

- ・学校と地域をつなぐコーディネーター的な役割が必要ではないか。
- ・現在も地域の協力は多くあるが、組織的に調整する仕組みを整えることが課題である。

- 学校運営協議会で話し合われた内容を実際の活動へ結び付ける体制づくりが必要である。
- 保護者や PTA の協力・参画についても重要な課題であり、家庭教育への働きかけも継続して検討する必要がある。

〈協議結果〉

本年度の重点テーマとして、「F 学校と地域をつなぐ組織体制づくり」を中心に検討を進めていく方向性で概ね了承された。

具体的な活動内容については、次回協議会でさらに検討することとなった。

2 その他

次回学校運営協議会について

日時：11 月 14 日（土）

内容： 音楽発表会参観

学校運営協議会

給食試食会 ＊希望者のみ

PTA 行事（小金っ子まつり）＊希望者のみ

